国際学群 語学教育専攻 4年次

なかむら こう み (中学校(英語)熊本県)(兵庫教育大学 学校教育研究科(修士課程) 人間発達教育専攻。教育コミュニケーションコース)中村 光実 (熊本私立文徳高等学校出身)

この度、熊本県教員採用試験(中学校・英語)、兵庫教育大学院学校教育研究科に合格しました。ご指導頂いた先生方、 沢山のサポートをして下さった教員養成支援センターの皆様、応援してくれた友人や家族に心から感謝申し上げます。

教員採用試験に向けては、自分との闘いの毎日でした。何度もくじけそうになりましたが、そんな時に自分を支えてくれたのは、共に頑張る仲間、先生方や家族を初めとする応援してくれる周囲の方々の存在でした。また、「教員になった自分」をイメージし続け、「教員になる」という強い意志を持つことで、モチベーションを維持していました。

私は4年間の学びを通して、教育に関する学びを深めたいと思い、大学院進学を決めました。2年後、自信をもって教 壇に立てるよう勉学に励みたいと思います。

教員採用試験までの道のりは大変ですが、自信を持って頑張ってほしいと思います。これから教員採用試験に挑む皆さんを心より応援しています。



大学院合格編

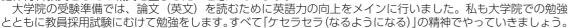
人間健康学部 スポーツ健康学科 4年次

『ヒネウ ヒホ - 「ヒネウ か (名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科(修士課程)) 城島 - 怜佳 (広島県立賀茂高等学校出身)



私はこの度、名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科に合格いたしました。中学校から夢だった保健体育科教員の道を進もうと思い教育実習を経験しましたが、教員への道進みたいという意識がより一層高まった反面、自身の力不足を痛感したため大学院でより深く学び、指導力や児童生徒との関わり方など様々な力を身に付けたいと思い、大学院への進学を決断いたしました。

教員になった際には特に、児童生徒にはスポーツや体育の楽しさや大切さを知ってほしいため、大学院でスポーツが及ぼす様々な影響について、健康に与える影響も踏まえながら科学的に学び、自身の持てる力を用いて、保健体育科教員としての職責を全うしたいと思っています。





人間健康学部 スポーツ健康学科 4年次

たけだこう たろう (名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科 (修士課程)) 武田晃太郎 (長崎県立佐世保西高等学校出身)



私は、教員採用試験 2 次試験で失敗をしたため説得力はないかもしれませんが、勉強に対する姿勢について少し伝えさせていただきます。各地域によって異なる場合もあると思いますが、基本はどの地域も 1 次試験において筆記試験があると思います。教員になる上で必須の最初の筆記試験に対して、「部活があるから…」「バイトがあるから…」「臨時採用でいいから…」といった考えで、勉強を怠り本気で立ち向かわない。これから子供たちに対して、目標や夢について指導していく立場となる私たちが、その立場になる前段階の最初の試験に向き合えないのは、覚悟が足りないのではないかなって思います。言い訳しない。ただひたすらに積み重ねる。難しいのは承知で、本気で立ち向かう姿勢が大切だと思います。



大学院での2年間、教員になるための猶予期間とならないように、私自身研究に勉強及び陸上競技に邁進して まいりますので、皆さんも一緒に頑張りましょうね。

~教員養成支援センターご利用案内~

利用時間*平日(月曜日から金曜日) 8:30~17:00

休館日*土曜日・日曜日・祝祭日

場所*名桜大学 本館4F TEL*0980-51-1560

※長期休業中も利用可能です!

- ○教職の履修ってどうすればいいの?
- ○教員採用試験の勉強がしたい!

○教員免許取得に必要な資格は?

- ○学生ボランティアに興味がある!
- ○留学に行ったらどのくらいで教員免許取得できるか?
- ○教育・養護実習について知りたい!

など、教職に関する質問や気になることがある学生、 将来教員をめざす学生はぜひ教員養成支援センターにお越しください!!

戦後80年の節目に「平和」を考える

第二次世界大戦後(以下,戦後)80年が経過しようとしている。昨年のノーベル平和賞に日本原水爆被害者団体協議会が選考され筆者は、

「涙が出るほど」に嬉しかった。筆者の父の故郷が、被爆地長崎であることがそこにはある。核兵器禁止条約会議に日本が、オブザーバーだとしても参加するのは「今、このタイミング」なのだが…。

翻って、私たちが暮らしている沖縄は戦時下、「本土」防衛のいわゆる「捨て石」にされ、戦火に見舞われた。だからこそ、この沖縄に位置する本学では、建学の精神として「平和・自由・進歩」が重んじられているのだと筆者は認識しているし、その精神に魅かれ、本学に赴任している。「建学の精神」に、平和を掲げている大学はそうそうないのだ。

2009年に代表的な平和教育研究者の村上登司 文は、戦後日本が「平和」であり続けた理由に ついて、「核兵器拡散が進み、ついには北朝鮮も 核実験を行う事態となったが、日本においては 核武装することを多くの国民は望んでいない。 日本を取り巻く国際状況の急変にもかかわら ず、日本国民の間に戦争を否定し平和を志向す る平和主義的な意識は強く存在している。その 理由の一つとして、第二次大戦の記憶が日本社 会に対して及ぼしてきた影響の強さが指摘され ることが多い。」[村上 2009:1] と述べた。村 上の発言から分かるように、戦後日本の「平和」 主義は、反戦争・反核兵器を内実としていた。 そしてそれへの支持は、大戦下で民衆が経験し てきた軍国主義による思想統制と貧困状況, そ して何よりも、身近な人々を「奪われた」こと への抵抗感、さらには「怒り」であった。

一方で、戦後に教員となった先達は、「自らが受けてきた戦前の軍国主義的な教員養成の体験と、教員になってからの戦争協力という。 19-20]を抱えていた。この「悔恨」から、1951年に「教え子を再び戦場に送るな」という日本教職員組合(1958年の加入率は86.3%であり当時は、校長・教頭を含む多くの教員が加入していた)の最流、戦後教育学」の思想基盤は、「平和と民主主義の確立」だったと言える(ただし、日本国憲法に三大理念の一つである「基本的人権の尊重」に

関しては、「民主主義」の問題領域に包含されると考えられ、正当・正統な位置づけがなされてきたとは到底言えない、と筆者は考える)。

他方,1955年頃からの高度経済成長期以降,一時期の教育政策・行政は、「人的能力開発」これをが「日本復興の道」とばかりに、時々にを主義=早期分離教育政策と教員管理強化を画由主義政策によって「強者/弱すとしてきたように、「弱者」を切り捨てようとしてきたように、「弱者」を切り捨てようとしてきたように、「弱者」を切り捨てようとしてきたように、「弱者」を切り捨てようとしてきたように、「弱者」を切り捨てようとしてきたように、「弱者」を切り捨ている。一番を非常によった。「一個者の表現にある。」にあるようにある。「一個方法の表現にある。」にある。「一個方法の表現にある。」にある。「一個方法の表現にある。「一個方法の表現にある。」にある。「一個方法の表現にある。「一個方法の表現にある。」にある。「一個方法の表現にある。「一個方法の表現にある。」にある。「一般方法の表現により、「一般方法の表現にある。」にある。「一般方法の表現にある。「一般方法の表現にある。」にある。「一般方法の表現によりにある。」には、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現により、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる。」」は、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる。」」は、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる。」は、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一体の表現れる、「一般方は、現れる、「一般方法の表現れる、「一般方法の表現れる、「一体の表現れる、「一体の表現れる、「一体の表現れる、「一般方は、これる、「一体の表現れる、「一体の表現れる。

日本国憲法は、「連合国軍から押し付けられたものだ」という批判はあるものの、その九条では、「本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争を解力による威嚇又は武力の行使は、国際殺争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。②前項の目的を達するため、陸海空軍その他で、立れを保持しない。国際的にも許で認めない。」と定められ、国際的にも許であることは周知の通りである(一方と限かれていることは周知の通り「国民」だと限において、その適応範囲は「国民」だと限したことが引き起こした問題は大きく、「民衆」・「人民」とすべきであった)。

下線部分が憲法に明記されているにもかかわらず,現在の日本をめぐる情勢下で「集団的自衛権」(2014年に閣議決定されてしまっている)がクローズアップされ、それに賛同する人々の発言も散見できる現状をどのように考えるべきなのか、筆者には極めて悩ましい問題である。

戦後80年の節目に我々は、どのような「平和」 を構築すべきなのかを熟考すべきであろう。極めて端的に言えば、対話による「平和」の維持なのか、軍備増強による「平和」の維持なのか、という選択になるだろう。

今後の国際・日本・地域社会を担う皆さんは, どのように考えるのであろうか。

国際学部 国際文化学科 教授 板山 勝樹



卒業生 から後輩たち へのメッセージ ~合格体験記~

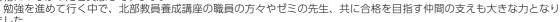


国際学群 語学教育専攻 4年次

利勇樹(中学校(英語)沖縄県)(沖縄県立名護高等学校出身)



この度、令和6年度沖縄県教員採用試験を受験し、無事に合格することができました。私が本格的に勉強を開始したの は大学3年次の12月と遅めでしたが、限られた時間の中で合格を目指すにあたり、北部教員養成講座に加え、YouTube やインターネットで合格者の体験談やアドバイスを参考にするなど、多くの情報を活用しました。また、スキマ時間を有 効活用し、YouTubeや参考書を使って理解を深める努力を重ねました。さらに、1年次からの教職科目では、教育に関す る知識を学ぶだけでなく、自分の教育観を常に意識しながら講義に臨んでいました。こうした地道な積み重ねが、今回の 合格につながったと実感しています。



これから受験をする皆さんも、努力を続ければ、必ず合格できると思います。自分を信じて、最後まで頑張ってください。 心から応援しています!



国際学部 国際文化学科 科目等履修生

陽香 (中学校 (英語) 福島県) (福島県立磐城桜が丘高等学校出身)



この度、福島県の教員採用試験で中学校英語教諭を受験し、合格することができました。大学1・2年生の頃はとりあえず受けてお こうという気持ちで教職科目を受講していましたが、教職の講義を通して自分のやりたいことを見つけることができ、教員を目指すこ とにしました。試験勉強は覚えることが多く、勉強が果たして間に合うのか日々不安を抱えていましたが、隙間時間を活用したり苦手 を見つけたら何度も問題を解いたりすることで効率よく勉強することができたと思います。また、一緒に頑張ってくれる仲間の存在が、 精神的に私を支えてくれていました。二次試験対策で面接練習をすることで、改めて自分自身を見直し、自分の思いや考えを言語化す ることで自分のやりたいことを具体化させ、より教員への思いが強くなりました。この期間は自分を成長させることができる良い機会 でした。

受験勉強は長期戦になります。無理はせず睡眠と食事はしっかりととり、楽しみを見つけながら頑張ってください、応援しています

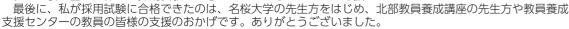
人間健康学部 スポーツ健康学科 4年次

風花(中学校(保健体育科)大分県)(大分県立大分鶴崎高等学校出身)



この度、大分県の教員採用試験で中学校保健体育教諭を受験し、無事に合格することができました。 私は、教員養成講座に参加しながら、1日6時間以上勉強をするという目標を立てて取り組んでいました。挫 けそうになった日もありましたが、教師になった時の自分を想像したり、友人と毎日勉強時間の共有をしたりす ることで、最後まで取り組むことができました。

私は、名桜大学だからこそ得られる経験が多くあると思います。そのため、後輩の皆さんには、一見試験とは 関係のないように思えることでも、挑戦したいことがあれば全力で取り組んでみてほしいと思います。その経験 が多くの引き出しを作り、採用試験にも必ず生きると思います!! 応援しています!





人間健康学部 スポーツ健康学科 4年次

遥華(中学校(保健体育科)福岡県)(福岡県立朝倉高等学校出身)



この度、福岡県教員採用試験を受験し、合格をいただきました。

試験までを振り返ると、自己分析することと一緒に頑張る仲間を大切にして、沢山頼ることが大切だったと思います。 自分には何が必要かを考え、ボランティア等で多様な子どもたちと関わり、実践力を少しずつつけていきました。また、 勉強に関しても、本番を逆算して何をするべきか細やかな計画を立てました。私は、問題を何度も解いてやり直しをする ことで、知識が定着したと感じていますが、個人で効率的なやり方が変わってくると思うので、早めに取りかかって自分 にとって何がベストかを見つけることが重要だと思います。また、面接でも、自分の魅力や弱み・強みを隅々まで知り尽 くした状態で、何度も先生や友人に練習のお願いをして、完璧な状態で本番に挑むことができました。

強い意志を持ち、学び続ける教師を目指して成長し続けますので、皆さんも合格に向けて後悔なく全力で試験に挑んで ください。また、挫けそうになったら、頼れる人が名桜大学にはいるということを覚えていてください。きっと大丈夫です。 全力で頑張る皆さんのことを陰ながら応援しています。



国際学群 語学教育専攻 4年次

弥桜(高等学校(英語)広島県)(島根県立隠岐島前高等学校出身)



この度、教員採用試験に合格し、4月から高校英語科教員として教員生活をスタートすることとなりました。私は複数自治体の受験 に挑戦し、対策範囲の広さやスケジュールの多忙さから何度も心が折れそうになりました。その度に、本当に教員になりたいのか、な ぜ教員になりたいのかと考える時間をとることでモチベーションを維持し、自分の教員になりたい意志を強固にすることができ、最後 まで受験を乗り切ることができました。

苦しい時期もありますが、教員採用試験対策を通して、友達と共に頑張ること、自分なりの息抜きを見つけストレス解消方法を見つ けること、そして自分なりの努力の仕方を確立することは今後の人生において大きな財産となると思います。応援しています。

最後に、北部教員養成講座の先生方、ご協力くださった名桜大学の先生方のサポートに心より感謝いたします。新任教員として不安 なことはたくさんありますが、教員採用試験を含む、大学での様々な経験を自分の自信に変え、精一杯精進していきます。

人間健康学部 スポーツ健康学科 4年次

琉花 (養護教諭 (鹿児島県)) (沖縄県立名護高等学校出身)



私は、この度鹿児島県の教員採用試験において、養護教諭として合格をいただくことができました。私が合格 することができたのは、保健室でのボランティア活動の経験と周囲の方々のサポートのおかげだと思います。保 健室ボランティアを行う中で、「先生」と呼ばれる立場として、座学だけでは学ぶことのできない現場ならでは の経験をすることができ、子どもたちと直接関わることで、「教員になりたい」という気持ちが高まり、試験勉 強のモチベーションにもなっていました。また、二次試験対策においては集団討論などの練習にあたり、友人や 先生方から沢山サポートをしていただきました。このサポートがなければ乗り越えることが出来なかったと思い ます。同じ目標を持った仲間と協力し、高め合うことで沢山の学びを得ることができました。

周囲の人々や環境を大切にし、感謝の気持ちをもって、自分自身の目標に向かって突き進んでください!応援 しています。



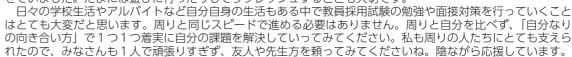
B

人間健康学部 スポーツ健康学科 4年次

瑞生(養護(鹿児島県))(鹿児島県立鹿屋高等学校出身)



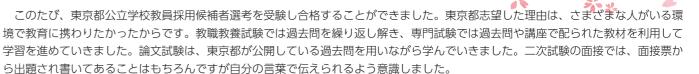
教員採用試験を受験するにあたり、私は毎日1時間でも問題集や過去問に向き合うことを徹底しました。はじ めの頃は過去問を解いても間違いばかりで復習に多くの時間を費やしましたが、何年分か解いていると間違いも 少なくなり復習の時間が短くなっていることを実感し、自分自身のモチベーションに繋がったことを覚えていま す。1人で挫けそうな時は、周りの友人が頑張っている姿を見てお互いに声を掛け合い、自分の気持ちを鼓舞さ せていました。たまには遊びに行ったりしてリフレッシュすることも大切です。





教員採用および大学院合格編

(中高共通 (東京都))



私が教員採用試験の学習を開始したのは一昨年の11月からでした。少し遅めのスタートではありましたが学校で行われる講座への 参加や先生方に相談したり、周りの教員採用試験を受ける方々と切磋琢磨することによって合格することができました。勉強をするの はもちろん自分自身ですが継続する学習で他者と関わるとはとても励みになりました。就活やサークル、バイトなど多忙なことも多い と思いますが頑張ってください。